

○あいちオレンジタウン構想 取組の全体スケジュール

項目	アクションプラン				中長期的な取組 H33~H37	
	H29	H30	H31	H32		
地域づくり	I 既存の社会資源の機能強化	<b>① 医療資源・介護資源の機能強化</b> ア 認知症診療医、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等の連携体制構築【県・医師会・NCGG】 調整 → 検討委員会立ち上げ・調査内容検討 → 実態調査（全県）・連携対策構築 → 継続実施 イ 認知症介護指導者の活用による事業所の認知症対応力向上【大府センター・大府市・東浦町・県】 調整 → 調査・実態把握 → 研修会・啓発活動の実施 → 個別相談等の実施 ウ NCGGの病床機能の強化【NCGG】 認知症リハビリテーション機能の強化など病床機能等の見直しを含めた建替えを検討				オレンジタウン構想の取組を検証  取組の情報を一元化・全県で共有  地域の実情に応じて全県に波及  事業継続のための財源の確保
		<b>② 医療・介護専門職の家族介護者支援力向上【認知症の人と家族の会・県】</b> 調整 → 家族介護者支援普及のための研修会開催 → 継続実施				
		<b>③ 若年性認知症の人への早期相談支援体制づくり【大府センター・NCGG・県】</b> 診断（NCGG）から支援（大府センター）へのつなぎの連携開始 → 他の疾患医療センターへ波及 → ケースの積上げ・就労支援モデル等開発				
地域づくり	III 社会資源の有機的連携	<b>認知症カフェを中核とした有機的連携の実証</b> 実態把握【県・家族の会】 → カフェサミット開催 実証エリア設定・立ち上げ支援 → 市民・専門職コラボ型カフェ実証【県・市町村】 → 検証・全県へ波及 取組連携				事業継続のための財源の確保
	II 新たな社会資源（企業・大学）の巻き込み	<b>① 認知症の人にやさしい企業サポーターの養成【県・NCGG・企業等】</b> 参画企業開拓 → 認知症本人及び企業への実態調査 認知症対応プログラム開発 → 対応プログラムの実証（大府市・東浦町・その他実証エリア） → 検証・全県へ波及 <b>② 認知症パートナー宣言の創設【県・企業・大学】</b> 参画企業等開拓 → 募集開始 県・宣言企業等による立ち上げイベント実施 → 継続実施				
研究開発等	IV NCGGを中核とした産学官連携による共同研究等の推進	<b>① 認知症予防の共同研究の実施</b> ア NCGGとプラザの連携ラボによる認知症予防プログラムの開発等【NCGG・プラザ・県】 開設準備 → 連携ラボ開設・予防プログラム開発 予防分野での企業等との共同研究の検討 → 認知症予防リーダー育成 共同研究の具体化 → 予防プログラムの全県への波及 共同研究の具体化 イ シンガポール国立大学との研究交流の推進【県・NCGG（必要に応じ名古屋大学も協力）】				大規模コホート研究の実施  産学官連携の新たな研究拠点の集積  国際医療協力、医療ツーリズムの推進状況を踏まえたNCGGの病床整備
		<b>② NCGGの病院機能の拡大【NCGG・県・企業等】</b> ・研究テーマ（食品・住宅・IoTなど）の検討・共同研究の推進 ・企業等との共同研究のための実証機能の実装を推進 ・国際的な医療協力に資するとともに、医療ツーリズムの可能性を検討				

(注) NCGG：国立長寿医療研究センター、大府センター：認知症介護研究・研修大府センター、プラザ：あいち健康プラザ